

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	第3学年	類型	Ⅱ型理系選択
単位数	3単位	教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）				
補助教材	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C（数研出版）						

学習目標	関数、極限、微分法、微分法の応用及び積分法とその応用について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てるようにします。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 関数	関数について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 極限の基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 微分法について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 微分法で学んだことを更に活用し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 積分法について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	5月	第2章 極限		
	6月	第1節 数列の極限 第2節 関数の極限		
	7月	第3章 微分法 第1節 導関数		期末考査
2 学期	8月	第2節 いろいろな関数の導関数	関数について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 微分法について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 微分法で学んだことを更に活用し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 積分法について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	9月	第4章 微分法の応用		
	10月	第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用		
	11月	第5章 積分とその応用 第1節 府定積分		期末考査
3 学期	12月	第2節 定積分	積分法について深く学び、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	学年末考査
	1月	第3節 積分法の応用		
	2月	総合演習		
	3月	問題演習等		

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。		